

第1回 国際産学連携拠点に関する検討会 議事要旨

日時：平成26年11月6日（木）13:00～15:00

場所：経済産業省本館17階第2特別会議室

出席者：山口委員代理（小沢委員代理出席）、角山委員、原委員、古賀委員、中村委員、山名委員、森山委員、瀬戸委員、劔田委員、松田委員、石崎委員、佐竹委員代理（近藤委員代理出席）、大沼委員、袖岡委員、戸高委員、松本委員、中澤委員代理（坂本委員代理出席）西田委員、星野委員、上田委員代理（宮本委員代理出席）、新川委員、豊島委員

議題：1. 各委員の紹介
2. 検討会及び配付資料等の公開について（案）
3. 福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想について
4. 検討会における検討事項について
5. 自由討議

議事概要：

（1）検討会及び配付資料等の公開について

資料に基づき事務局より、検討会及び配付資料等の公開について説明があり、委員の了承が得られた。

（2）福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想について

資料に基づき事務局より、国際産学連携拠点に関する検討会の趣旨、主な検討内容、スケジュール・進め方等について説明があり、委員の了承が得られた。

（3）検討会における検討事項について

資料に基づき事務局より、国際産学連携拠点に関する検討会における検討事項の案について説明があった。

（4）自由討議

委員からいただいた主な意見は以下のとおり。

- ・ 「国際的な産学官共同研究室」を成功させるためには、研究施設の充実を通じてトップクラスの研究者を集めていくことが重要である。そのためには研究施設をはじめ、しっかりとした施設が必要。
- ・ どの組織が責任を持って運営を行っていくのか、中心となる主体を明確にしていく必要がある。
- ・ イノベーション・コースト構想は、特に人をどのように集めるのかという視点を検討する必要がある。
- ・ 廃炉の現場では、中堅のマネージャークラスの人材が不足している。
- ・ 福島県の浜通りには一定の技術力を持つ中堅企業も多く、そういった企業のニーズにも配慮する必要がある。